

想定した品目

きゅうり半促成

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
きゅうり半促成	人	a		1. ハウス栽培	
	2	20			
		経営耕地面積	水田 180 畑 20		
経営目標	1 農業総収入	5,582 千円	4 1日当たり農業所得	5,771 円	
	2 農業経営費	4,069 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,049 時間	
	3 農業所得	1,513 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	耐用 年数	年間 償却額
						千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	1	連棟標準型(AP)ハウス:2,000㎡	1		13,272	8	830
	かん水施設	1	かん水施設:2,000㎡	1		296	7	21
	育苗ハウス	1	AP単棟ハウス:100㎡	1		392	8	25
	重油タンク	1	1.9KL	1		182	7	13
	防油堤	1		1		192	25	8
	作業及び収納舎	1	20PS	1		2,640	24	110
	農機具倉庫	1	可搬式	1		880	24	37
	計						17,854	
農機具	トラクター	1	20PS	1		1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式	1		213	7	15
	管理機	1	6. 2PS	1		200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1		807	4	101
	加温機	1	150,000kcl/h	1		1,321	7	94
	多段式サーモ	1	加温機取り付け	1		92	7	7
	計						4,450	

3. 技術体系（きゅうり半促成）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 床土づくり	床土積み 切り返し 床土消毒 ガス抜き	7~11月	トラック 管理機	1	30	30	堆肥 2t 石灰質資材 30kg リン酸質資材30kg 油カス 30kg	土:堆肥=1:1 10a当たり 2m <sup>2</sup> pH6.0~6.5に矯正する 床土消毒は県病害虫防除基準による
育苗床設置	は種床設置 移植床設置	12月上 12月上		2	12	24	育苗箱 53個 穂木 23個 台木 30個 12cmポット 1,900個	は種床 15m <sup>2</sup> 移植床 100m <sup>2</sup>
は種		12月中		1	5	5	種子量 穂木 2,000粒 台木 2,000粒	
接木	呼び接ぎ 鉢上げ 断根	12月中 12月下		2 1	14 2	28 2	クリップ 1,900個	切り込みの深さが浅くならないよう注意
管理	かん水 温度管理	12月中 ~1月中		1 1	9 8	9 8		温度管理 昼間 26~28℃ 夜間 15~17℃
病害虫防除	薬剤散布	12月中 ~1月中	動力噴霧機	1	1	1		県病害虫防除基準による
(本ぼ) 耕うん整地	耕起整地	1月上	トラクタ	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 120kg リン酸質資材20kg	
土壌消毒		1月上	土壌消毒機	2	3	6		県病害虫防除基準による
保温施設組立て	ビニール張り	1月上	トラック	4	9	36	ビニール一式	
施肥	基肥施用 追肥施用	1月中 2月上 ~5月下	トラック トラクタ	2	2	4	N 35kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 25kg K <sub>2</sub> O 30kg	Nの分施割合 基肥50% 追肥50% 液肥の追肥は、収穫開始10日後頃から行う。
定植準備	うね立て 配管 マルチ	1月上	管理機	2 2 2	3 3 4	6 6 8	ポリフィルム 幅1.8m、長さ700m かん水チューブ 700m	

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植		1月中	トラック	2	7	14		栽植密度 うね幅1.5m×株間40cm 10a当たり 1,700株 10a当り1,700株 地温17℃以上を確保する。 浅植える。
整枝・誘引	支柱立て 誘引	1月～6月	トラック	2	8	16	支柱 350本 針金 20kg テープ 2,500m	主枝の摘心は20～23節で行う。子づるは5節まで除去、以降は2葉、孫づるは1葉で摘心する。
				2	75	149		
温度管理	保温、換気	1月中 ～6月下	加温機	1	58	58	A重油 4,000L	二重カーテン設置 午前 28～30℃ 午後 25～26℃ 夜間 12～13℃
かん水		1月中 ～6月下	かん水施設	1	17	17		少量多回数でかん水し、急激な土壌水分の変化を避ける。
病虫害防除	薬剤散布 天敵利用 耕種的防除	7月中 ～10月下	動力噴霧機	2	11	22		県病虫害防除基準による
収穫出荷		3月上 ～6月下	トラック	2	288	576		取扱は丁寧に行う
後かたづけ		6月下 ～7月	トラック トラクタ	2	10	20		
計						1049		購入苗利用の場合は、 942時間

